



平成 21 年 12 月 25 日

各 位

(財) 日本モーターサイクルスポーツ協会
ロードレース委員会

J-GP3 クラスの名称変更と方向性について

2010 年より GP125 クラスの名称を「J-GP3」に変更いたします。

小排気量競技車両の将来の方向性を考慮し、2 ストローク車両と 4 ストローク車両が同じレベルで競い合える環境を整えるため、以下のとおり改定されます。

技術仕様の詳細につきましては、2010 年度国内競技規則書にてご確認ください。

J-GP3 クラスについて

1) クラス名称変更 : J-GP3 (ジェー・ジーピースリー)

2) 選手権と参戦車両 (2010 年)

参戦車両は以下のとおり

格式	ライセンス	参加できる車両
地方選手権	国内ライセンス	GP125 車両 (2 ストローク車両)
チャレンジカップ 選手権	国内ライセンス	GP125 車両 (2 ストローク車両)
	国際ライセンス	GP125 車両 (2 ストローク車両) または、 プロト、プロト 2 (4 ストローク車両)
全日本選手権	国際ライセンス	GP125 車両 (2 ストローク車両) または、 プロト、プロト 2 (4 ストローク車両)

< 4 ストローク車両での参戦にあたり >

プロト・プロト 2 の 4 ストローク参加車両は、エントリー前に「出場車両申請書」を大会主催者経由にて MFJ ロードレース委員会へ提出し審査に合格しなければならない。

3) 技術仕様の変更について

(1) 車両重量の改定

2 ストローク車両 (GP125) 状況により、年度途中で技術的な追加ハンデ規則の適用の可能性もある。	77 kg
4 ストローク車両 (プロト・プロト 2)	75 kg

(2) その他技術仕様の変更点

○ 2ストローク車両（GP125）車両関連 . . . **ラム圧禁止**

規則内容：

9-1-3-1 エンジン**は自然吸気でなくてはならない。ラム圧は禁止される。**
エアボックスは取り付けなくても良い。
エアボックスを取り付ける場合には、エアボックスの上部は開放とし、上端と隣接する部品（例えばフェューエルタンク）との間には、40mm以上の隙間を最低100mmの区間で設けなければならない。走行可能な車両状態でその隙間を確認出来ること。

○ プロト、プロト2車両関連

規則内容：

7-16-8 プロト、プロト2
音量測定は、固定回転数 6,000rpm にて実施する

4) 将来の方向性

・ 全日本選手権

GP-MONO の開催及び J-GP3 クラスへの 2ストローク車両（GP125cc）の参加は 2011 年までとする。

ただし、2011 年についての J-GP3 と GP-MONO の運営方法については、2010 年の動向を見極め、今後決定する。

・ 地方選／チャレンジ選手権

2011 年からは GP-MONO クラスと統合する。

2ストローク（GP125）車両に、2010 年より車両重量およびラム圧禁止の規則を適用する。

ただし、2ストローク車両の参戦終了期限は定めない。